

1. 授業の概要(ねらい)

前年度の経営学演習Ⅰ・Ⅱにて学習・研究した内容を復習しながら、決められた論文テーマに従い、必要な資料・データ等を集めることとともに順次に研究計画書・論文ドラフト・論文原稿を作成する。授業では、提出した原稿を以てレビューや討論等を行って内容修正を繰り返しながら、修士卒業論文をまとめていく。
最終的に修士卒業論文を完成して必ず期日までに提出する。

2. 授業の到達目標

- ・修士卒業論文は、必ず期日までに完成して提出できること。
- ・特定テーマに関して参考文献やデータ等の収集方法を把握できること。
- ・データの整理・分析や論文の書き方等の研究方法を学習できること。

3. 成績評価の方法および基準

修士卒業論文を期日までに提出できることを前提として、論文内容と論文作成過程の授業参加度・態度(レビュー・討論の参加度や資料の収集・データの分析状況、約束の順守等)を以て総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は、特に指定しない。各学生の論文テーマ等に応じて授業中に詳しく指示する。

参考文献

戸田山 和久 『新版 論文の教室 レポートから卒論まで』 NHK出版
島岡 要 『研究者のための思考法10のヒント—知的しなやかさで人生の壁を乗り越える』 羊土社

5. 準備学修の内容

- ・修士卒業論文テーマに関連する資料・データ等は、日頃に収集・整理するように努力すること。
- ・図表の作成方法等論文の作成に必要なツールを事前に学習すること。

6. その他履修上の注意事項

- ・論文作成にあたって決められたスケジュール表に必ず遵守すること。
- ・各段階に応じて原稿を早めに作成して提出すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション・研究計画書の確認・修士卒業論文の予定表の作成
- 【第2回】 各自が研究計画書を作成するとその確認・報告・討論。
- 【第3回】 各自が卒業論文のドラフトを作成するとその確認・報告・討論。
- 【第4回】 各自が卒業論文のドラフトを作成するとその確認・報告・討論。
- 【第5回】 各自が卒業論文のドラフトを作成するとその確認・報告・討論。
- 【第6回】 各自が卒業論文のドラフトを作成するとその確認・報告・討論。
- 【第7回】 各自が卒業論文のドラフトを作成するとその確認・報告・討論。
- 【第8回】 各自が卒業論文のドラフトを作成するとその確認・報告・討論。
- 【第9回】 各自が卒業論文のドラフトを作成するとその確認・報告・討論。
- 【第10回】 各自が卒業論文のドラフトを作成するとその確認・報告・討論。
- 【第11回】 各自が卒業論文のドラフトを作成するとその確認・報告・討論。
- 【第12回】 各自が卒業論文のドラフトを作成するとその確認・報告・討論。
- 【第13回】 各自が卒業論文のドラフトを作成するとその確認・報告・討論。
- 【第14回】 各自が卒業論文のドラフトを作成するとその確認・報告・討論。
- 【第15回】 各自が卒業論文のドラフトを作成するとその確認・報告・討論。
- 【第16回】 各自が卒業論文ドラフトを提出して確定すること。
- 【第17回】 各自が卒業論文原稿を作成するとその確認・報告・討論・修正・再提出。
- 【第18回】 各自が卒業論文原稿を作成するとその確認・報告・討論・修正・再提出。
- 【第19回】 各自が卒業論文原稿を作成するとその確認・報告・討論・修正・再提出。
- 【第20回】 各自が卒業論文原稿を作成するとその確認・報告・討論・修正・再提出。
- 【第21回】 各自が卒業論文原稿を作成するとその確認・報告・討論・修正・再提出。
- 【第22回】 各自が卒業論文原稿を作成するとその確認・報告・討論・修正・再提出。
- 【第23回】 各自が卒業論文原稿を作成するとその確認・報告・討論・修正・再提出。
- 【第24回】 各自が卒業論文原稿を作成するとその確認・報告・討論・修正・再提出。
- 【第25回】 各自が卒業論文原稿を作成するとその確認・報告・討論・修正・再提出。
- 【第26回】 各自が卒業論文原稿を作成するとその確認・報告・討論・修正・再提出。
- 【第27回】 卒業論文の最終確認、参考文献の作成、図表の調整や体裁の整え等と要旨の作成。
- 【第28回】 卒業論文の最終確認、参考文献の作成、図表の調整や体裁の整え等と要旨の作成。
- 【第29回】 卒業論文・要旨の最終確認・印刷・論文の提出。
- 【第30回】 総括と卒業論文作成の振り返り等